

8月8日(水)

コッツウォルズ巡り

今朝の気温は 23 度。今日も過ごしやすい良いお天気に恵まれました。「昨日の夜、テーブルテニスをやった!」、「ホストファミリーが“侍”について、色々な質問をしました!」、「ホストシスターが着物を着たいといって、日本から持参した浴衣を着せてあげました。とっても可愛かった!」、「スーパーに連れていってくれて、おすすめしてくれたお茶とお菓子を買った」、等々、ホストファミリーとの話題は様々です。スピーチの発表を明後日に控え、午前中の授業も文章の完成と長さの調整に入りました。一人ひとり交代で担当の英国人教員と内容を詰めます。他の人たちは文章を書き直したり、インタビューで得た情報を加えたりしています。「全体の長さから、まずはメインのアイデアの時間を決め、導入と結論の時間配分をしましょう。」、「結論に結びつくアイデアを、様々な方向から考え加えていきましょう。」など、英国人教員からのアドバイスをもとに、学生クラスアシスタントと一緒にみんな真剣に文章を考えていました。



午後は教室を離れて、コッツウォルズ村巡りを楽しみました。コッツウォルズは、かつて羊毛産業の集積地として栄えましたが、産業革命時に土壌の問題で鉄道が敷けなかったことが原因で、発展することができませんでした。そのため、現在でも昔ながらの美しいイングランドの面影を残し、“一生に一度は住んでみたい地域”、“イギリス人の心の故郷”として人気なスポットです。バスが通る道の左右には、イギリスのカントリーサイドらしい景色である、麦畑が広がり、時には牛や馬や羊たちが放牧されている場所もあります。心安らく、のどかな景色です。

まずは、ガイドブックには載っていない、穴場のスタントンを訪れました。人口は約200人。スタントンは、古くは羊毛産業で繁栄した村でした。しかし、19世紀頃からイギリスで広まった鉄道から外れていたため、村の産業は急激に衰退し、そして、のちの産業革命からも取り残されたこの村は、15世紀から変わらない中世の街並みをそのまま残すこととなりました。歴史のあるスタントンの古い街並みは、舗装された道路以外は500年前の景観をほぼそのまま残しており、まるで時間が止まったままのようです。



スタントン村の次に向かったのは、ブロードウェイです。コッツウォルドの宝石とも例えられるこの町は、シェイクスピアが自身の作品にも登場させるほどの美しさに溢れています。中世の羊毛産業が盛んだったころはその運搬の中継地として栄えたそうです。当時、駅馬車で移動する人たちの休息地として軒並みに建てられた立派な建物は今ではおしゃれなホテル、カフェ、ショップ、ミュージアムなどとして蘇っています。ここで30分程の自由時間を設け、おみやげ屋さんやお菓子屋さんの店、みんなそれぞれいろんなお店を覗きながら楽しい時間を過ごしたようでした。また、イギリスの伝統的なお菓子「Fudge」の専門店を買って食べていた生徒も見かけました。



その後、ポートン・オン・ザ・ウォーターへと向かいました。コッツウォルズのベネツィアと言われている「ポートン・オン・ザ・ウォーター」は、村の中心に小川が流れ、夏にはピクニックに来る家族連れや観光客で賑わいます。小川沿いにはたくさんのティールームとお土産屋さんが並んでいます。今日も良いお天気の中、水辺で日光

浴をしたり、水遊びをしたりする人の姿が多くみられました。そして、ポーションと言
えば、クリームティー。紅茶とスコーンのセットで、素朴な風味のスコーンにクロテ
ッド・クリームとジャムをたっぷりつけて頂きます。自由時間になると、このクリ
ームティーを求めて一目散の生徒達や、お土産を求めてお店に駆け込む生徒さん達な
ど、それぞれの目的地へあっという間に消えていきました。集合時間前になると、買
い物やクリームティーを済ませた生徒さん達が川沿いでくつろいでいました。



最後にバイブリーを訪れました。この村は英国で有名なデザイナー、ウィリアム・モ
リスが「イギリスで一番美しい村」と称賛した村で、17世紀に建てられた家並みはコ
ッツウォルズのカレンダーや本の表紙でお馴染みの景色です。小川には虹鱒が泳いでい
て、鴨や白鳥も水遊びをしていました。日本ではめったに見ることのできない白鳥を目
の前に、皆さんとても感激して川べりで沢山の写真を撮っていました。アーリントンロ
ーと呼ばれる築700年以上にもなるコテージの前で記念撮影をしたり、木陰が涼しい
小路を散歩したり、「可愛い！私ここに住みたい」とその現実離れた美しさに皆さん

驚いているようでした。

今日のバスハイクでは、なぜこんなにコッツウォルズがイギリス人のみならず、世界中の人々の心を惹きつけ、愛されるのかを生徒たちも少し理解できたのではないのでしょうか。今晚はぐっすり寝て、明日のスピーチ練習を頑張りましょう！応援しています。

